

YAMAHA PIANO

サイレント・シリーズ
取扱説明書

YAMAHA

安全にお使いいただくために

以下の指示を必ず守って下さい。

1. この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んで下さい。
2. 次のような場所での使用や保存はしないで下さい。
 - 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機などの発熱する機器の近くなど)
 - 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿気の高い場所
 - ホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
3. この機器をヘッドフォン、あるいはアンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快なほどの音量で長時間使用しないで下さい。万一、聴力低下や耳障りを感じたら、専門の医師にご相談下さい。
4. この機器は、正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用して下さい。
5. ACアダプターの電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んで下さい。
6. 長時間使用しない場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
7. この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対に入れないで下さい。
8. 次のような場合は直ちに電源を切ってACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、ヤマハサービスに修理を依頼して下さい。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
 - 機器が(雨などで)濡れたとき
 - 機器に異常や故障が生じたとき
9. 取扱説明書に書かれていること以外のこと(修理/部品の交換など)は、絶対にしないで下さい。必ずヤマハサービスにご相談下さい。
10. ACアダプターのコードを無理に曲げたり、上に重い物を乗せたりしないで下さい。
11. ACアダプターのコードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って下さい。
12. この機器を分解したり、改造したりしないで下さい。
13. ACアダプターは必ず本体に付属のものをご使用下さい。故障、火災の原因となります。もし紛失された場合はヤマハサービスにご相談下さい。

この度は、ヤマハピアノサイレントシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
させていただきます。

お求めのピアノを正しくお使いいただくために、お使いになる前に、本書をよくお読みください。お読みになった後は、必ず保管しておいてください。

本機の特長

ヤマハピアノサイレントシリーズは、長年にわたる楽器づくりの経験と高度なエレクトロニクス技術を結集して開発した消音型ピアノで、普段は通常のピアノとしてお使いいただけるほか、夜間などにはサイレント演奏でご使用いただけるものです。

そして、当社独自のサイレントシステムを搭載し、アコースティック演奏時はもとよりサイレント演奏時にも高い表現力でピアノ演奏をお楽しみいただけるものでございます。ご使用に当たりましては、本書をご参考にしていただきサイレントピアノを十分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

目次

●安全にお使いいただくために	1
●本機の特長	2
ご使用になる前に	3
専用ACアダプターの接続について	4
●基本編	
各部名称	5
消音演奏をする	6
●応用編	
リバーブの設定	7
ピッチコントロール機能	8
同時発音数の切換(アップライトピアノのみ)	9
MIDIについて	10
おかしいなと思ったら、ちょっとお調べください	11
MIDIインプリメンテーションチャート	12
取り扱いについて	13
保証とサービスについて	14

ご使用になる前に

付属品をお確かめください

- * 専用ACアダプター・1個
- * ステレオヘッドフォン・1個
- * 取扱説明書(本書)

設置について

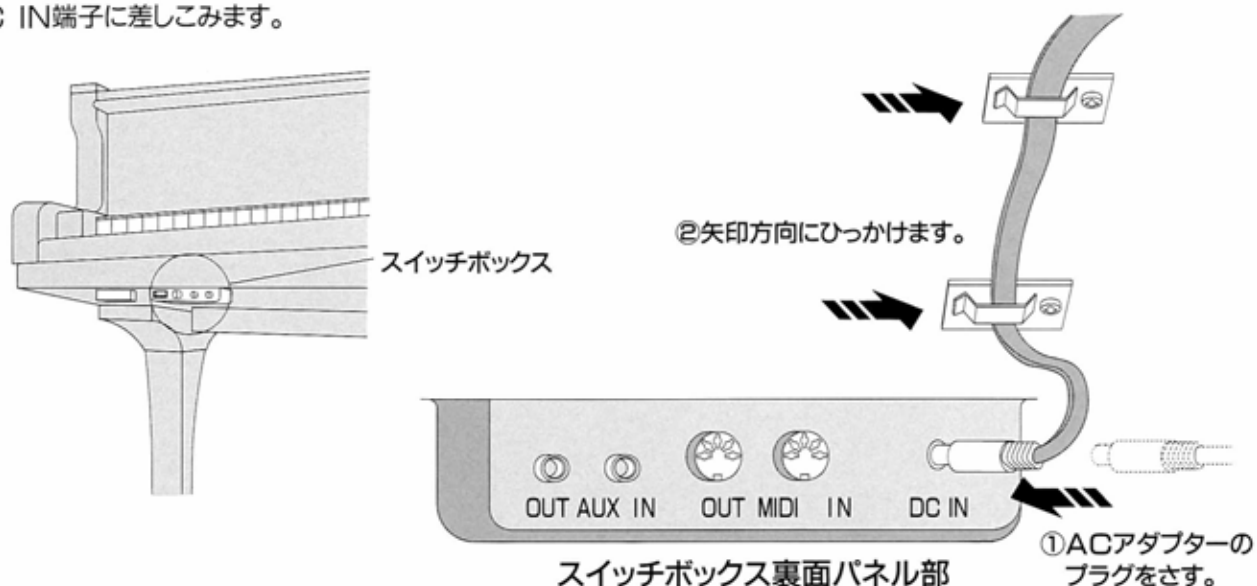
- * 窓ぎわなど直射日光の当たる場所は避けてください。
- * 暖房器具のそばなど高温な場所、高湿な場所は避けてください。
- * ホコリの多い場所を避けて設置してください。
- * 煙、スプレーなどがかからないようご使用ください。
- * ACアダプターは付属品以外絶対にご使用にならないでください。故障の原因になります。

専用ACアダプターの接続について

グランドピアノの場合

スイッチボックス裏側のDC IN端子に、付属の専用ACアダプターを次のように接続してください。

- ① 付属のACアダプターをスイッチボックス裏側のDC IN端子に差しこみます。
- ② スwitchボックスのフックにケーブルを図のように止めます。

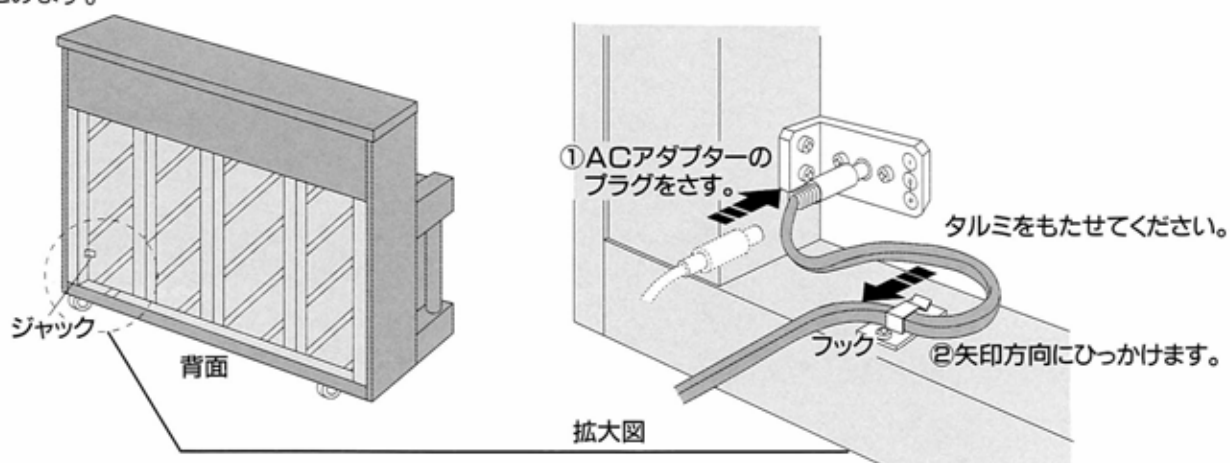


※接続後、ACアダプターのケーブルはタルミをもたせてください。

アップライトピアノの場合

ピアノ本体のジャックに、付属の専用ACアダプターを次のように接続してください。

- ① 付属のACアダプターをピアノ本体のジャックに差しこみます。
- ② ピアノ土台上のフックにケーブルを図のように止めます。

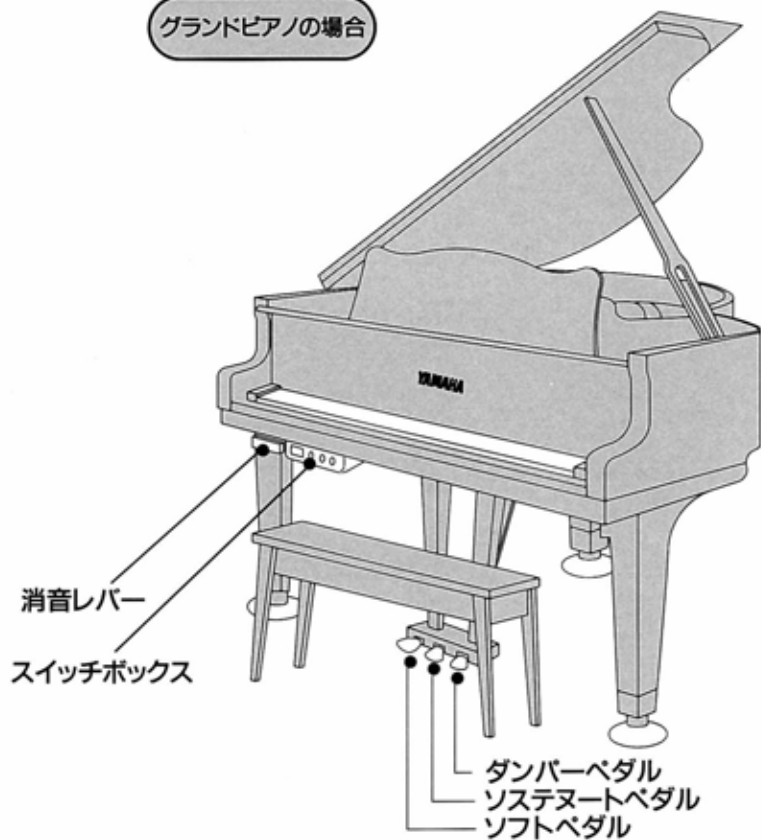


※接続後、ACアダプターのケーブルはタルミをもたせてください。

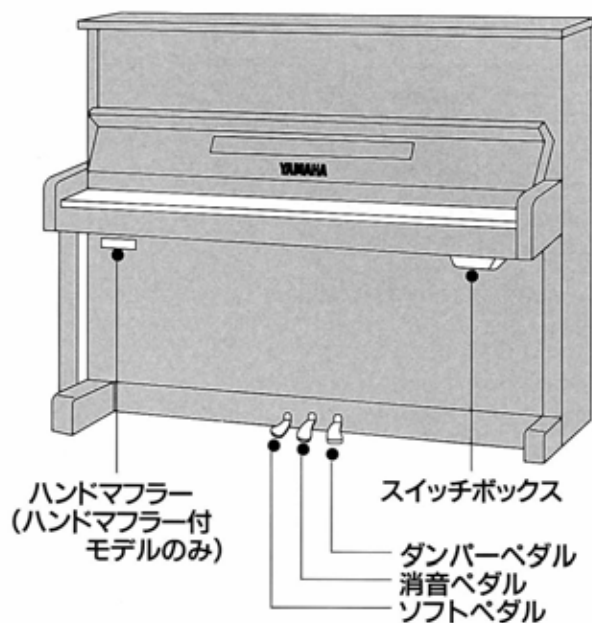
※この図は代表的なアップライトピアノをサンプルとして説明されています。

各部名称

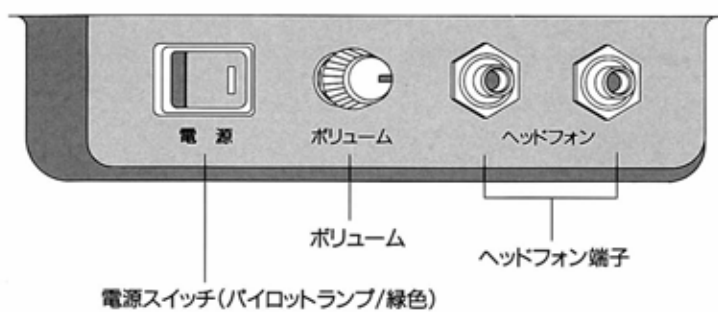
グランドピアノの場合



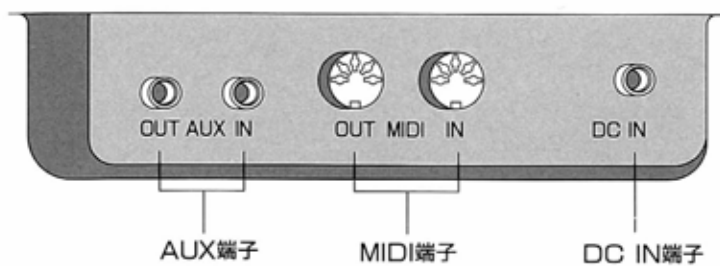
アップライトピアノの場合



スイッチボックス
表面パネル部



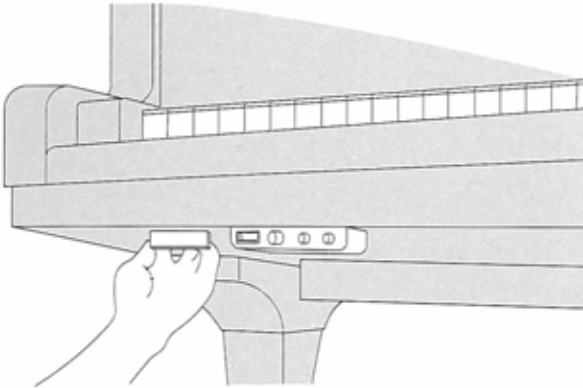
スイッチボックス
裏面パネル部



消音演奏をする

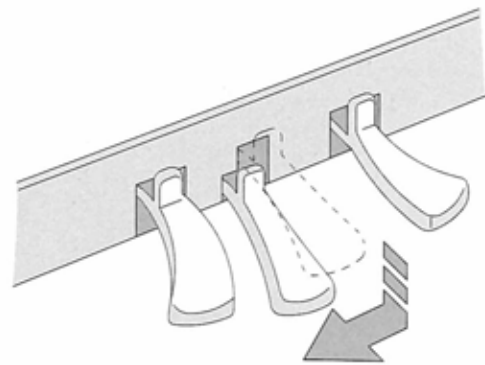
グランドピアノの場合

- ①消音レバーを手前に引いて下さい。
(※カチッと音がするまで引いてください)
(※生演奏に切替える時は、一度手前に引いてから戻して下さい。)

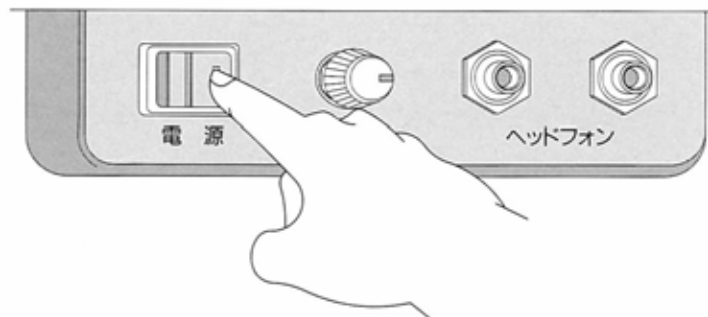


アップライトピアノの場合

- ①消音ペダルを下に踏み込んでから左側にセットして下さい。
これでピアノの音は消えます。



- ②電源スイッチをオンにして下さい。(緑色のパイロットランプが点灯することをお確かめください)



- ③ヘッドフォンをヘッドフォン端子に接続して下さい。(ヘッドフォンは2本まで同時に使えます)



- ④音量ボリュームを調整する。



リバーブの設定

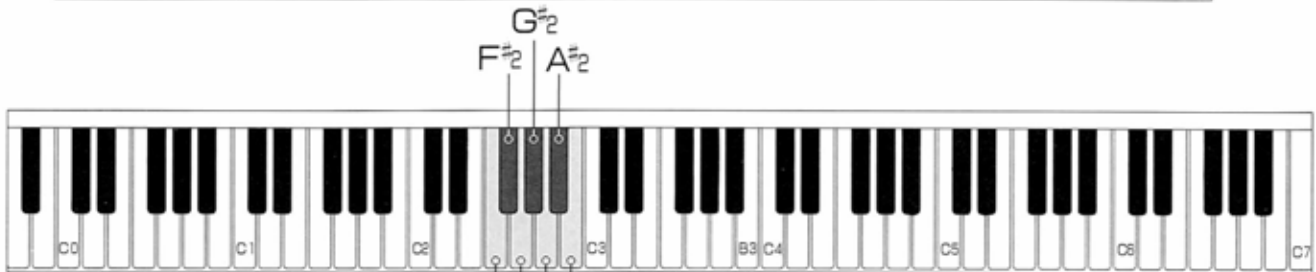
* リバーブは、音に残響をつけ加えて、音の響きを豊かにする効果です。

* 普通に電源オンするとリバーブはかかりませんが、図のように白鍵及び黒鍵を押しながら電源オンすることにより、リバーブのタイプ及び深さ(かかり具合)が設定できます。

* 黒鍵でリバーブのタイプを、白鍵で深さを設定します。

黒鍵：タイプ

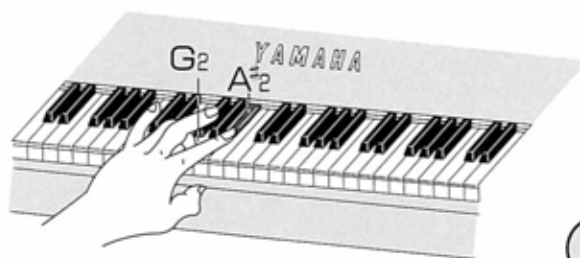
F [#] ₂	ルーム……響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
G [#] ₂	ホール1…小さなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。
A [#] ₂	ホール2…大きなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。



白鍵：深さ

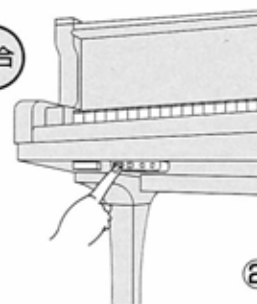
F ₂	浅い
G ₂	やや深い
A ₂	深い
B ₂	かなり深い

設定例…ホール2のリバーブを、やや深くかけたい場合



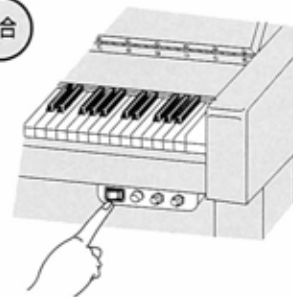
①この場合リバーブ設定用
鍵盤(G₂とA[#]₂)を押しながら

グランドピアノの場合



②電源オン

アップライトピアノの場合



補足●リバーブ設定は電源オフ時に解除されます。

ピッチコントロール機能

合奏の時などに、音程(ピッチ)を正確に合わせるための機能です。他の楽器と微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って音の高さを合わせます。

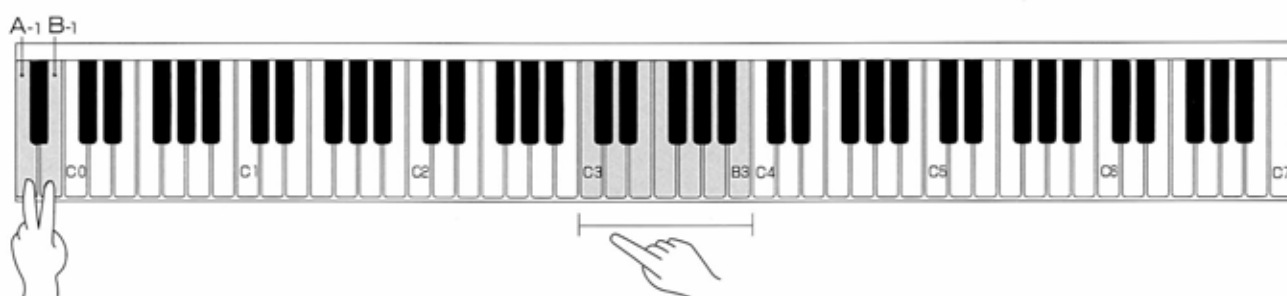
1. 音程を上げる時

①A-1とB-1の鍵盤(左端の白鍵2つ)を同時に押しながら、

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。

1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。

音を聴きながらこきざみに音程を上げて、他の楽器と合わせてください。

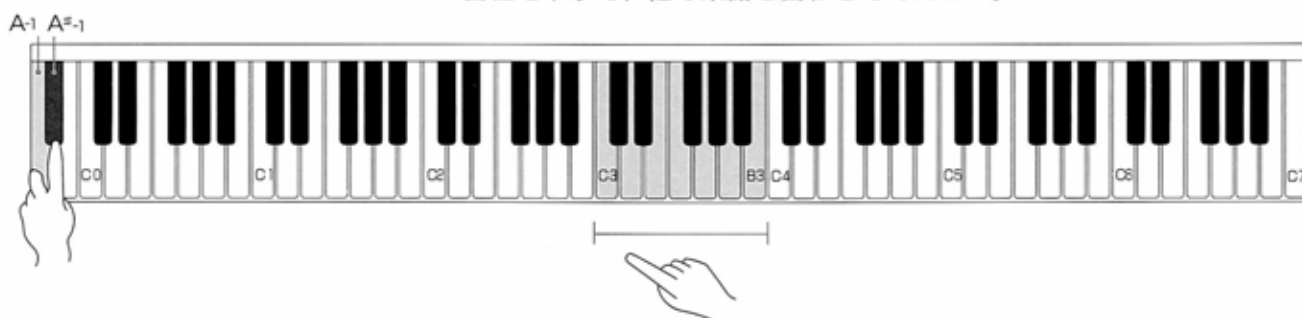


1. 音程を下げる時

①A-1とA[#]-1の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押しながら

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。

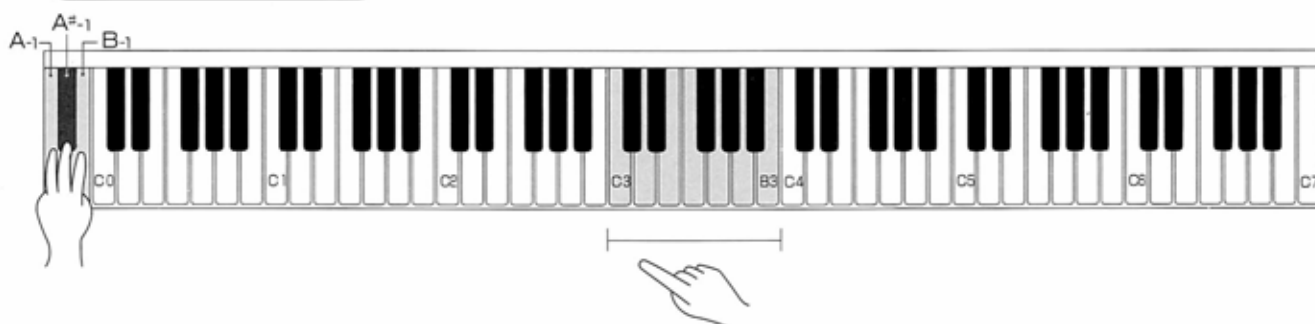
1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきざみに音程を下げて、他の楽器と合わせてください。



3. 標準状態に戻す時

①A-1とA[#]-1とB-1の3鍵盤(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を同時に押しながら、

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を1回押してください。



- 補足 ● 音程は、±約50セントの範囲を約1.2セントきざみで設定できます。(100セント=半音)
● 標準状態の時、A₃=440Hzです。
● 設定は電源をオフにするまで記憶され、電源オン時には標準状態に戻ります。

同時発音数の切換え(アップライトピアノのみ)

●グランドピアノのサイレントシリーズは、常にステレオ32音ですから、この操作は必要ありません。

*アップライトピアノのサイレントシリーズの最大同時発音数は、通常ステレオ16音です。

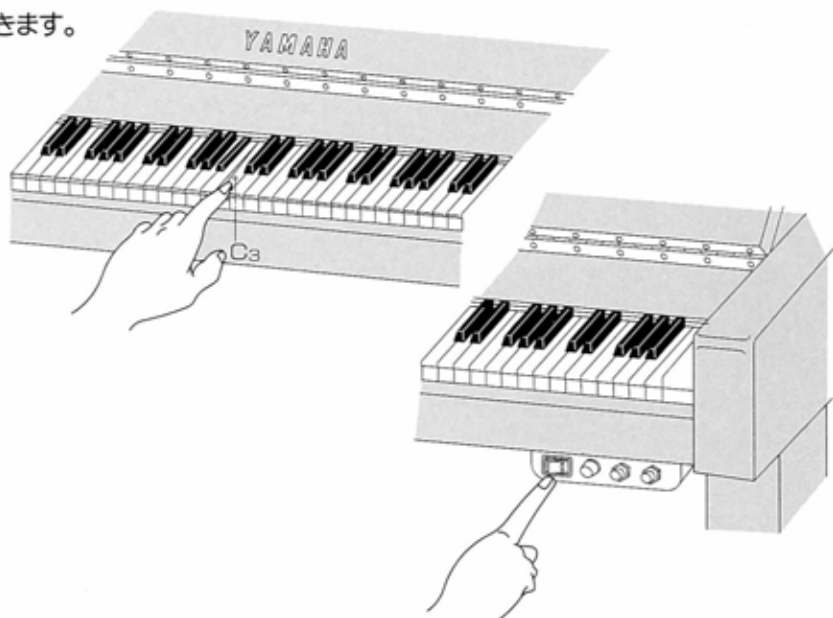
*連弾やペダリングを多用する曲など、同時に17音以上の音を必要とする場合は、最大同時発音数を32音(モノラル)に切換えることができます。

*また、同時にリバーブをかけることもできます。

1. 32音に切換える時

①C₃の鍵盤を押しながら

②電源スイッチをオンにしてください。

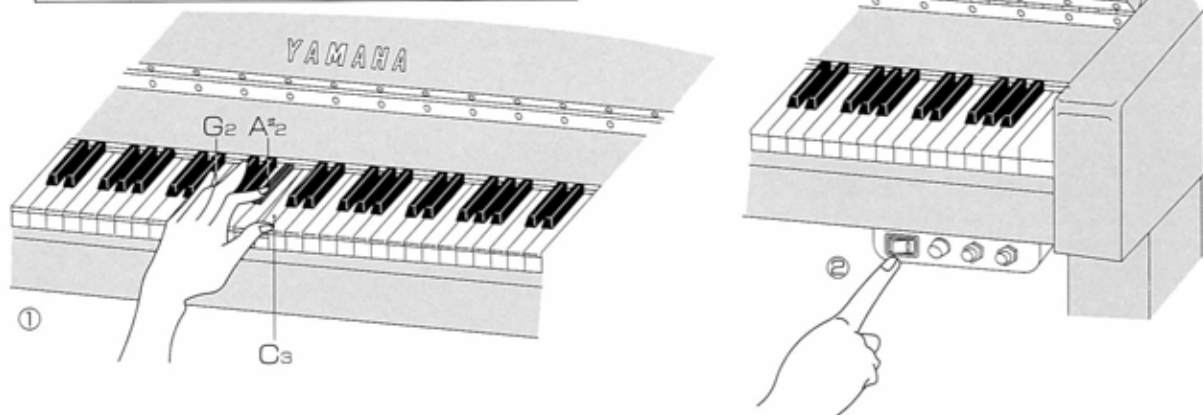


2. 同時発音数を32音に切換え、リバーブをかける時

①C₃の鍵盤とリバーブ設定の鍵盤を同時に押しながら(リバーブ設定のページをご参照ください)

②電源スイッチをONにしてください。

設定例...同時発音数を32音に切換えながら、ホール2のリバーブをやや深くかけたい場合



補足 ● 最大同時発音数の切換えは電源オフ時に解除されます。

MIDIについて

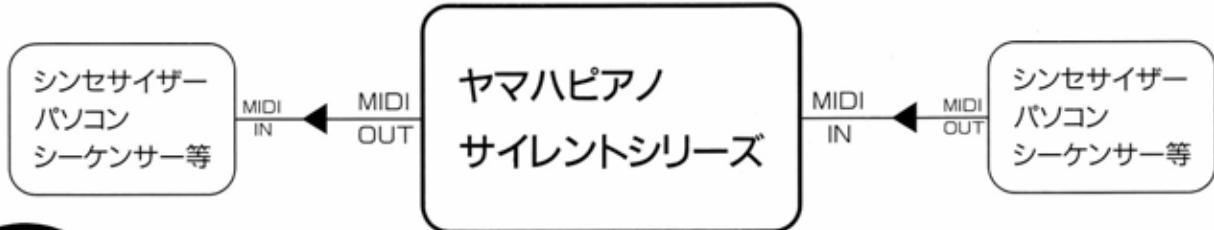
本機には、MIDI IN/OUT端子がついています。ここではその利用例を紹介します。

MIDI OUTでできること

- サイレント演奏して、シンセサイザーや音源モジュールを鳴らすことができます。
- シーケンサーやパソコンに演奏情報を送り、記録することができます。

MIDI INでできること

- シーケンサーやパソコンでサイレントピアノ/内蔵音源を鳴らすことができます。また、その音に合わせてサイレント演奏することができます。



MIDIって何!?

MIDIは、電子楽器同士をMIDIケーブルで接続すると、同時に鳴らしたり、録音した曲を交換しあったりできる、メーカーを超えた世界共通の規格です。MIDI規格の楽器ならどれとも、連携プレイが楽しめます。本機は、MIDI IN、MIDI OUT端子を1つずつ装備しています。

MIDI IN演奏情報を受けとる

MIDI OUT演奏情報を送り出す

MIDI楽器に装備されているこれらの端子同士を、MIDIケーブルでつなぎ、数台くらいまでの連携プレイを楽しむことができます。接続は、必ず楽器の電源を切ってから行いましょう。

AUXについて

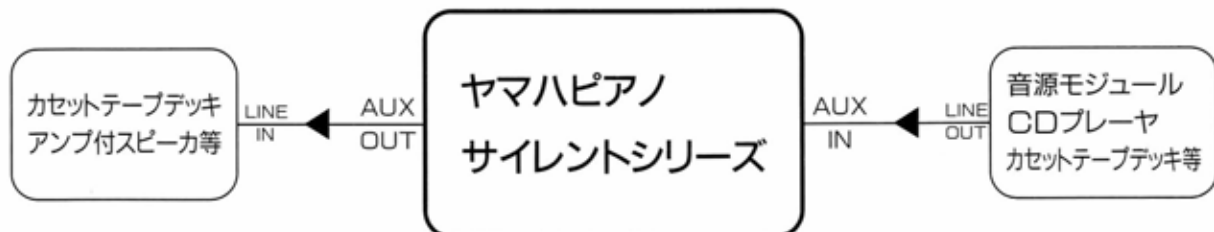
本機にはAUX IN/OUT端子がついています。ここではAUX端子の利用例をご紹介します。

AUX OUTでできること

- サイレント演奏をカセットテープに録音できます。
- また、アンプ付スピーカやステレオにつなぐと、スピーカで音が聞けます。
- AUX OUT端子からはヘッドホンで聞く音と同じ音が出されます。

AUX INでできること

- 音源モジュールやCD、カセットテープに合わせてサイレント演奏することができます。



AUX IN端子より入力された音には本体のボリュームは効きません。サイレント音とのバランスは相手側(音源、CDプレーヤー)のボリュームで行って下さい。

[注意] 本機のAUX IN/OUT端子はステレオミニジャックです。相手側の端子に対応したケーブル、または端子形状の変換アダプタが必要になります。

おかしいなと思ったら…ちょっとお調べください

電源を入れても音がしない	→	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプタープラグが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。 ● ボリュームが最小になっているかもしれません。適正位置に調整してください。
消音演奏時にも生ピアノの音が出る	→	● 極度に強く打鍵すると生ピアノの音が出る場合があります。打鍵の強さを加減してください。
市販のヘッドフォンで聞くと音のバランスが異なる	→	● ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによってはバランスが異なる場合があります。
市販のヘッドフォンで聞くと音量が異なる	→	● ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによっては音量が異なる場合があります。
サイレント演奏時にピアノの本体からカタカタという音がする。	→	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。アコースティックピアノ本来の打鍵音です。 ● アコースティックピアノ本来の音色や響きなどを生み出す大切な要素のひとつです。

主な仕様

- 鍵盤 88鍵 (A₁~C₇・7オクターブ1/4)
- 効果・機能 リバープ、ピッチコントロール
- 最大同時発音数 グランドピアノ：ステレオ32音
アップライトピアノ：ステレオ16音、モノラル32音、(切換え可能)
- 電源 AC100V、50/60Hz
- 定格消費電力 グランドピアノ：17W(DC15V、1A)
アップライトピアノ：12W(DC15V、700mA)
- コントロール ボリュームコントロール
- 付属端子 ヘッドフォン端子(2)、
MIDI端子(IN/OUT)
AUX端子(IN/OUT)
- 付属品 ACアダプター(1)
ステレオヘッドフォン(1)
取扱説明書

MIDIインプリメンテーションチャート Version:1.0

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル 電源オン時 設定可能	1チャンネル ×	1チャンネル ×	
モード 電源オン時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノート ナンバー 音域	21~108 *****	21~108 21~108	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ ○(グランドピアノ) × 90H, V=0 (アップライトピアノ)	○ ○	
アフター タッチ キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー	×	×	
コントロール チェンジ 64 66 67 91	○ ○(グランドピアノ) × (アップライトピアノ) ○ ○	○ ○ ○ ×	ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル(シフトペダル) リバーブデプス
プログラム チェンジ 設定可能範囲	× *****	×	
エクスクルーシブ	×	×	
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム クロック コマンド	× ×	× ×	
その他 ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×	× × ○ ×	
備考			

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

取り扱いについて

●電源について

必ずAC100V(50Hzまたは60Hz)のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください(本機は日本国内仕様です)。
長期間ご使用にならない時は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。



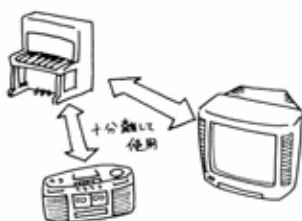
●コード類について

コード類の上に物を置いたり、ピアノのふたに挟みこんだりしないでください。
コード類を抜き差しする時は、必ず電源を切ってから、行ってください。
コード類を抜く時は、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



●他の電気機器への影響は?

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



●落雷のおそれがある時は?

早めにコンセントからACアダプターの電源プラグを抜きとってください。



●ピアノの外装を磨く時は?

表面についたほごりは、ピアノ用の羽毛かやわらかな布で軽くから拭きします。鏡面艶出し塗装のピアノは、専用のヤマハピアノユニコン(別売)でムラなく拭きあげてください。市販の化学雑巾や外装手入れ剤は成分がわかりませんので、使用はさけてください。



●水に濡れた時は?

万一雨がかったり、水をこぼしてしまった時は、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



●故障かな?と思ったら

ACアダプターがきちんと接続されていないか、意外なところで操作を誤っている場合があります。



●移動する時は?

ACアダプター、コード類をすべてはずしてから、移動します。ピアノの運搬・移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。



保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたご購入の日付から1ヶ年です(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください(保証書はピアノ本体の上前板内にあります)。

●保証書は大切に保管しましょう。

保証書は弊社が、本機をご購入頂いたお客さまに、保証規定の通りご購入の日から向こう1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させて頂くことになります。いつでもご提示頂けますように十分ご配慮の上で保管してください。また、後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金を頂く場合があります。またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

ヤマハサービス網

ピアノの保守点検等のサービスに関するお問い合わせは、お買上げいただきましたヤマハ楽器特約店の他、下記ヤマハ各支店にてお受け致しております。

北海道支店	〒064	札幌市中央区南10条西1丁目	☎011(512)6114
仙台支店	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル	☎022(222)6148
東京支店	〒104	東京都港区高輪2-17-11	☎03(5488)5442
関東支店	〒104	東京都港区高輪2-17-11	☎03(5488)1684
名古屋支店	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	☎052(201)5145
大阪支店	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	☎06(252)7541
広島支店	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18	☎082(244)3748
九州支店	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	☎092(472)2152

所在地・電話番号など、都合により変更する場合がございますので、ご了承下さい。

ヤマハ株式会社

国内楽器営業本部ピアノ営業部

〒430 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL(053)460-2181代

YAMAHA